



いなほ

稲積神社社報
第13号

平成12年5月3日発行

奉祝

皇紀二千六百六十年



新設された祓所

稲積神社御鎮座四百年奉祝

記念事業に御協力下さい。



所 感

宮 司 根津泰昇

西暦二千年、大晦日から元旦にかけて、電気、ガス、水道はと、ミレニアム緊張感が漂いました。ご多聞にもれず当社も発電機等を準備し参拝者の足を確保いたしました。が何ごとも無く安心いたしました。閏年の二月二十九日にもコンピュータの誤作動問題が報じられたもの大事に至らなかった事に安堵したのは国民全体の偽らざる事実でしょう。さすが日本国。

今年も見開きたい事件が多発しています。中でも新潟少女監禁事件は、警察や国家公安委員会の体質に国民は大きな衝撃を受けました。次々に全国各地より警察の不祥事が表面化してくる事にはただただ驚きです。治安国家、日本警察魁れと言葉を送りたいものです。

反対闘争の問題で賑わしたT高校。国旗、国家問題で校長先生を自殺にまで追込んだS高校。本年は、T高校では、一部の生徒はボイコットしたものの大部分の生徒と教職員は全員が出席したとの報道がありました。T・S両高校共国旗を掲揚し、国家を斉唱した事も報じられました。校長先生の自殺に端を発した、国旗、国歌問題も去年八月九日に法制化された事が、本年に結果となって表われた事でしょう。国旗、国歌法案が成立したことによって、教育現場に変化を与えた事は国民の声ではなかったでしょうか。崇敬者と共に祝祭日には、国旗掲揚運動を推進しましょう。(家庭用国旗は神社で頒布しております。)

さつきの蕾がふくらみだした初夏のさわやかさを感じました。世紀変りは、世界は変動すると言われています。日本ももれる事なく変貌しています。戦後国家の復興の為に力を尽された人々の努力、実績を時が過ぎゆくにつれて、薄らいでしまい、高度成長時代を迎えるやいなや、物心の尊さ、苦勞多きの時代を忘れてしまひ。使い捨て時代、飽和時代、身勝手社会を築いてきました。このつげが環境問題、教育、道徳の低下、経済、金融不安等々の諸問題として現在社会を覆っております。直面している現代人はこの諸問題をどのように捕らえるべきでしょうか。それは今の世と逆行する考え方を持つことでしょうか。礼儀正しい、折目正しい日本人の日本の心、教育勅語に記述されている如く日本の教育、日本の道徳の尊さ、神を敬い祖先を尊ぶ敬神崇祖の真心を日本人として再認識することでしょう。この心を体得することが、心豊かで平穏な日々を送れることです。これが神様からのご神徳です。ご神徳が授けられることを願わずにはいられない現代社会です。

祭典行事歴

(五月〜十月)

- 毎月 一日 月始祭
- 三日 月次祭
- 十五日 神恩感謝祭
- 古神札 焚上げ祭

- 五月二日 献木祭
- 正ノ木大祭前夜祭
- 三日 正ノ木例大祭
- 四日 大祭特別祈願祭
- 二ノ祭
- 五日 三ノ祭
- 正ノ木大祭終了祭
- お田植祭
- 六月 三十日 夏越 大祓
- 八月 富士ヶ嶺開拓祭
- 富士ヶ嶺開拓祭
- 金刀比羅祭
- 二十二日〜二十四日 甲府伊勢講千社まいるの旅
- 岩手、秋田二泊三日の旅

毎月一日、三日、十五日には

神社にお参り

しましう!!

御日供献饌講について

当神社では毎朝大神様に神饌(米・酒・乾物・野菜・果物・塩・水)をお供えして祭典を奉仕しております。このおまつりを「御日供祭」と称し、御日供祭にお供えする神饌奉献者の集まりを御日供献饌講と申します。

御日供献饌講は、毎年、一月一日より十二月三十一日迄を区切りとして、毎朝講員の皆様の繁栄をお祈り申し上げ一年間お護りいただく御礼として順次大神様に神饌をお供えして参ります。又、御奉献いただいた講員の方々に、年一度お集り願って大神様に益々の御加護を祈年すべく御日供献饌講々社祭を斉行致します。この御日供献饌講の初穂料は一年間三千元です。御希望の方は御参拝の折に受付へお申し出下さい。

祝祭日には

国旗を上げましょう!! 神社社務所でも頒布しております。

国旗セット

(国旗、竿、金色冠頭) (取付金具、収納袋付) 頒布価格 一、五〇〇円

職場体験学習

山梨大学教育人間科学部附属中学校では総合的な学習活動の一環として「職場体験活動」を実施していましたが当社において三月一日、五名の女子生徒が巫女さんの体験学習を行いました。一日だけの体験学習でしたがそれぞれ生徒達の心に残ったものがあつたようです。その生徒達の感想文を今号と次号の二回に分けて御紹介します。

神社での体験を通して

武井 志織

「神社について」、本でもインターネットでも、あんまりわかりませんでした。実際に今回きてみて体験したことは、全て、初めてのことでした。
 〈巫女さんの格好について〉

この格好はもちろん初めてで、今までに着物もあまり着たことがありませんでした。下の赤いのはかま(？)はズボンの様になってるのかなあと思っていたんですが、スカートの様でした。憧れのがちょっとつかかりぎみでした。転びそう。

〈午前中に体験したこと〉

おまつり：人が集まってやるにぎやかなものかなと思っていたら違う！何だか儀式のような感じでした。二礼三拍手一礼は正式名称と正しいやり方をはじめて知りました。一番印象に残っているのは、本殿の奥の方に入って見たことです。

〈午後の体験〉

雅楽が一番印象的でした。音楽が好きなので、一度本物を見てみたいと思っていたので、とても楽しかった&うれしかったです。外で手水をやった時とてもつめたかったです。神社にいても、「どうやる水なのかなあ」と思っていたのですが、謎がとけたつ！というかんじでした。

〈全体を通して〉

やっぱり着物をきると(とくに神社だったし、)いろいろとおしとやか(？)に行動しなくてはずという感じでした。普段からしつかりしていれば良かったけれど、なれないことで、やっぱり大変でした。知らない作法もたくさんあって、日ごろから不作法というか知らなかったのかと思ってしまう。今日は不慣れな所もあつたけれどとても楽しかったです。ありがとうございます。



「稲積神社」にて

興 石 綾 菜

私は、今回初めて職場体験で神社についていろいろ学習をしました。私がなぜ神社を選んだかという点、もちろん一つは巫女さんになってみたかったからです。もう一つは、いつも初もうでに行く時、神社でお参りはするけれど中ではどんな仕事をしているのか興味があつたからです。

でも、今日この仕事をしていろいろな事が勉強になりました。まず、神社に入ってきた時に手水をして入ってくる事、お参りをする時のやり方など他にもいろいろなる事を学ぶことができました。それから私が一番心に残つ

《人の動き》

婦幽

稲積神社崇敬青年会

会長 樋川 久氏

一月三十一日享年 四十八歳



〈樋川会長を偲んで〉

初代会長 佐藤久良

樋川久さんとの出会いは昭和六十二年崇敬青年会を発足の折、会司様の紹介で御合し、私が会長で樋川さんが会計という関係でした。

樋川さんは物事を落ち着いて考え行動に移すという私とはちがうすばらしい性格で会の運営を助けて戴きました。又県の氏子青年会を発足の折にも事務局長と言う非常に大役をして戴き大変助かりました。

これからは樋川さんのいない青年会ですが樋川さんに相談した事や共に苦労した事を思いながら頑張りたいと思います。最後に長年の御苦労に感謝申し上げます。御冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

最後に長年の御苦労に感謝申し上げます。御冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

□ 日 程 □

10 22 (日)	甲府——(中央道・首都高速)——上野 <small>やまびこ3号</small> 盛岡——盛岡八幡宮(参拜)	4:00 7:00 7:46 10:09 10:40 11:20
	——盛岡IC(東北道)——松尾八幡平——東八幡平(昼食)——八幡平アスピーテライン	12:16 13:30
	——八幡平山頂——トロコ——玉川ダム——田沢湖高原温泉(泊)	13:40 14:00 15:00 15:15 16:00
10 23 (月)	田沢湖高原——角館(武家屋敷 自由散策)——辰子姫の像——御産石	8:30 9:15 10:30 11:00
	——白浜(遊覧船)——(秋田自動車道)——八望台——入道橋——男鹿温泉(泊)	11:30 12:00 16:00 16:20 16:30 17:00 17:10
10 24 (火)	男鹿温泉——真山神社(なまはげ鑑賞)——窟風山——(秋田自動車道)——	8:00 8:30 9:40 10:00 10:30
	——秋田空港 <small>全日空 874便</small> 羽田空港——(首都高速・中央道)——甲府	12:10 13:10頃 14:15頃 19:00頃

□ご宿泊 10月22日(日) 田沢湖高原温泉…プラザホテル山麓荘
10月23日(月) 男鹿温泉……………男鹿グランドホテル

▲ 甲府伊勢講ご案内 ▲
岩手・秋田二泊三日の旅

今回は盛岡八幡宮、真山神社の正式参拝とみちのくの紅葉を求め八幡平、田沢湖・角館・男鹿半島の見学コースを企画いたしました。

この機会に皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただけますようご案内申し上げます。

○ご旅行代金
お一人 七八、〇〇〇円

○募集人員 一二〇名
お申し込みお問い合わせ先
伊勢講世話人 神社社務所
平成十二年十月二十二日(日)
～二十四日(火) 二泊三日

あ・し・あ・と
奉祝記念事業報告

崇敬者各位の御理解と御協力を賜り取り進めて参りました御鎮座四百年奉祝記念事業も当初の計画の最終年度を迎えました。

これまでに完成した事業は次の通りです。

- 一、拝殿銅葺屋根替え
- 一、幣殿改築
- 一、表参道、南参道、北参道整備
- 一、参集殿模様替え、トイレ改築
- 一、境内整備
- 一、交通安全自動車おはらい所新設

一、天満天神社改修等の事業です。大変な時代にもかかわらずここまで出来ました事に心



より御礼申し上げます。

奉祝事業実行委員会では、塩島実行委員長、宮司を始め関係者一同一丸となり記念事業完遂の為ひきつづき努力してまいる所存であります。最後まで御理解賜りますようお願い申し上げます。御報告とさせていただきます。



奉納

正ノ木さんの歌碑竣工

四月九日「正ノ木さん」の歌碑の除幕式が作詞者の五味とめ子さんを始め童謡愛好会の人達の参列の中斎行されました。

この歌は、平成九年の正ノ木祭に発表され、今回歌碑として奉納され神社西鳥居の横に建立されました。

歌詞は、五味さんが毎年正ノ木祭に來られ、花の便りを聞き、青葉を渡る風を感じるこの季節を心のままに一日で作られたそうですが、曲と相まってどこか懐かしく心の琴線にふれる歌となっています。



金屏風一双

社団法人日本画府
理事 吉原 さち絵 殿



社銘旗

甲府市湯村
岸本 たけじ 殿
米寿祝



《会員募集中》

- 崇敬青年会
 - ソフトボール部
 - 稲積睦会
 - 雅楽会
 - 敬神婦人会
- 当神社各種団体では只今会員を募集しています。お問い合わせは社務所までおねがいします。

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055)233-5573
FAX (055)226-0787